



公益社団法人 スペシャルオリンピックス日本・愛知

NEWSLETTER

2021
11月号

スペシャルオリンピックスは知的障がいのある人のスポーツを応援します。

星が丘会場のボウリングプログラムでオンラインプログラムを開催しました

春にスタートしたプログラムですが、4月18日に一度開催されてから、コロナ感染拡大でお休みになったまま現在でも再開できていません。長期間アスリート・コーチが顔を合わせてトレーニングする機会もなくなってしまいましたので、Webの空間ですがみんなで集まって、会話と競技・用具についての勉強をすることにしました。もともとプログラム開催を予定していた9月26日(日)の11:15から12:00でZoomを使ってアスリート9名、コーチ2名の合計11名で開催しました。

※10月16日(土)よりプログラムは再開が決定しました。

◆近況報告をしよう

自分の近況について、それぞれ報告してもらいました。

◆用具の手入れを勉強しよう

競技に使う道具の手入れについて、今回は「ボール」の拭き方について、松田コーチから説明しました。

意外と知らないことだったようで皆さん真剣に聞いてもらいました。



「皆さん大丈夫かな?」「お話しできるかな?」・・・主催者の心配をよそに、参加者の皆さんは、笑顔で久々の再会を楽しんでいました。プログラム開始前に入室された皆さんで「〇〇さん元気?」「ボウリングやってる?」の会話が飛び交っていました。

コロナ感染拡大の新しい生活様式で、仕事ではWeb会議、学校ではリモート授業が当たり前になってきています。SOのアスリート達もこの波に慣れていって欲しいと思います。お父さんお母さんは「大丈夫かしら」と心配されていましたが、アスリートの皆さんはケロッと対応されていました。

今回のオンラインプログラムは、ボウリング競技のスキル向上だけでなく、日常生活スキル向上の一助にもなったと思います。何事も経験です。また、機会があれば開催したいと思います。(リアルで開催できる方が嬉しいですが・・・)そして他の競技にもオンラインプログラムが広まっていくと嬉しいです。

お手伝いをしてくれた、お父さんお母さん、お兄さん・お姉さん、弟・妹の皆さんもありがとうございました。

(ボウリング星が丘会場 主任コーチ 松田則雄)

(アスリート感想)

オンラインをやってみたかったのでうれしかったです。みんなの顔が見れて話ができて楽しかったです。

(ファミリー感想)

横でヒヤヒヤしながら見ていましたが、久しぶりに画面を通じて皆さんに、お会いできて楽しそうに手を振っていたので安心しました。



発行 / 公益社団法人 スペシャルオリンピックス日本・愛知



SO ボランティア説明会の開催

愛知県森林公園の多目的利用室をお借りして SO ボランティア説明会を開催しました。今回参加していただいたのは「野鳥を撮る人の集まり」の方たち7名と「SONA P&M」のメンバー5名です。

「野鳥を撮る人の集まり」の方たちをお誘いしたのは、日頃、野鳥を撮影しているスキルと写真に対する情熱を SO のスポーツプログラムで活動しているアスリート達の写真撮影に生かしていただけないかと思いをかけました。

アスリートの頑張ってるところや、とびっきりの笑顔が記録や思い出として残せたらいいと思います。説明会では資料を用いて①SOの概要②組織③歴史④スポーツプログラムの説明をしました。

また、愛知のスポーツプログラム紹介動画を観ていただき、撮影のイメージを掴んでいただきました。

「SONA P&M」の加藤さんからは、実際の活動内容、撮影した写真の取り扱い、権利などについて説明をしていただきました。

多くの方たちに参加していただき楽しい活動になるといいですね。



説明会の様子

SONA P&M (Photo & Movie Team) の活動紹介 (広報委員会 所属)

スポーツプログラムが順次スタートしました。「SONA P&M」もプログラムのスタートに合わせて活動していきます。スポーツプログラムを中心にアスリートが頑張っているシーンを撮影(写真や動画)し、喜びと思い出をお届けします。「SONA P&M」のメンバーはピンクのビブスを着ていますので気軽に声をかけてください。

ちなみに、ポリシーは「気軽に、楽しく、真剣に」です。

- ボランティア活動として「気軽に」参加できなければいけない
- みんなで写真を撮ることを「楽しめる」組織でなければいけない
- アスリートとファミリーの頑張りを残すために「真剣に」撮影する



「SONA P&M」メンバー

(左から丸山さん、佐吉田さん、加藤さん、戸田さん、瑞慶山さん)

スペシャルオリンピックスとパラリンピックの違い

SO とパラリンピックの違いについてまとめてみました。成り立ちや日常の活動など大きな違いがあることが分かります。

	スペシャルオリンピックス (SO)	パラリンピック	
原点	ケネディ元大統領の妹ユニス・シュライバーさんの実の姉に知的障がいがあるのを機に始めたデイキャンプが発祥	第二次世界大戦後の戦傷者の療養と社会復帰、1948年に英国で開かれた戦傷者のアーチェリー大会が国際大会に発展	
日常の活動	SOの各地区組織が開催するスポーツプログラムに参加	障がい者スポーツ団体、地域・企業のクラブ活動などに参加	
参加対象	知的障がいがある人	肢体不自由、視覚障がい、知的障がいがある人	
世界大会	直近の大会規模	2019年夏季アラブ首長国連邦・アブダビ、24競技、190カ国、約7500人が参加	2020年夏季東京、22競技、162カ国・地域と難民選手団、選手数約4400人が参加
	競技運営	年齢や運動能力のレベルに応じてクラス分け 2000年からダウン症のクラスと自閉症のクラスが新設された	障害の種類や重さに応じてクラス分け、ただし、知的障がい者はクラス分けが無い



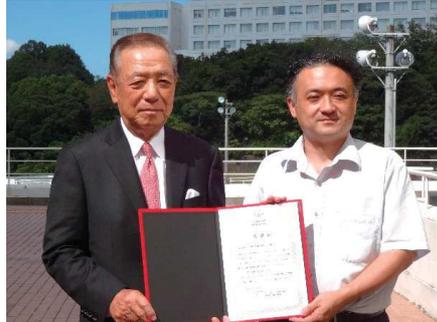
日本福祉大学生生活協同組合様に 32 台目の支援自販機が設置されました

9月29日(水) 知多郡美浜町にある日本福祉大学美浜キャンパス内に日本福祉大学生生活協同組合様がコカ・コーラ社の支援自販機1台を設置して頂きました。

当日は専務理事の青山武史様、専務補佐の小西真穂様に対し、SON・愛知からは酒井俊皓理事長、秋重泉 財務委員会副委員長、鈴木事務局長の3人が、感謝状の贈呈とスペシャルオリンピックスの設立からの歴史や活動内容などを説明させていただきました。

美浜キャンパスは知多半島南部に位置するため、温暖な気候に恵まれた美しい自然が残るところで、この日も気持ちの良い風が迎えてくれました。広い敷地のため迷子になりそうでしたが、学生さんに親切に教えてもらい助かりました。支援自販機の設置場所も下記写真のようにスペシャルオリンピックスの活動の写真がラッピングされた側面も目立ちます。

学生さんたちがSOの活動に興味をもっていただければ幸いです。



専務理事の青山武史様に酒井俊皓理事(左)より感謝状の贈呈



白い色の自販機が多い中、支援自販機の赤色とラッピングが目立ちます

明治安田生命保険様から寄付金を頂きました

昨年8月に続き今年も明治安田生命保険相互会社様 名古屋東支社 金鯨営業部様より 236,000円の寄付金を頂きました。SON・愛知の会員でもある阿部 昌子様が会社の「私の地元応援募金」活動にSON・愛知を推薦していただいたものです。この募金は『従業員の方と会社拠出寄付をマッチングした寄付』という沢山の方の思いがあるものです。

9月8日 営業部長の塩田 成史様、推進役の関山 豪様と阿部 昌子様 に事務局までお越しいただき鈴木美好事務局長より感謝状をお渡ししました。

今後ともご支援の程お願い申し上げます。



左から阿部様、塩田様、関山様、鈴木事務局長

◆寄付・協賛 ご協力ありがとうございます。

日付	名称/連絡先(敬称略)	内容
9月15日	明治安田生命保険相互会社 名古屋東支社 金鯰営業部 様	寄付金

SON・愛知 運営委員会便り (議事録抜粋)

<9月15日(水) 18:00～ 堀田事務所から web 会議>

1. ボランティア委員会(八塚委員長) (1) 愛知学泉短期大学ヤングアスリートプログラム実技実施について(2) 三河地区での活動拡大について(3) スポーツボランティアサミット開催延期 (4) 2021年山岳会といっしょに登山は中止が決定
2. 広報委員会(窪田委員長) (1) NL原稿10月号(9月発行)①自宅でできるエクササイズの紹介 ②「サマーセミナー」名古屋経済大学市邨高校に参加 ③支援企業の紹介(リネットジャパングループ様) ④競泳新会場の紹介 (2) NL原稿11月号(10月発行) ①プログラムの活動紹介 ②SOボランティア説明会の開催 ③広報委員会P&Mの紹介 ④支援自販機(日本福祉大学)設置の件 ⑤スペシャルオリンピックスとオリンピック、パラリンピックの違い ⑥明治安田生命保険相互会社様より寄付の件 (3) NL原稿12月号(11月発行) ①プログラムの活動紹介 ②SONオンラインマラソン2021に参加 (4) 情報発信とデータ管理について (5) P&Mの活動 (6) メルマガの内容について(9/13第9号配信) ⑦刈谷市民ボランティア活動センター発行紙「ぼらっち。」にSON・愛知の活動を紹介
3. 財務委員会(梅田委員長) (1) 支援自販機31台の入金状況:9月99,962円 1月からの累計653,374円 前年比117.0% (2) 寄付金 リネットジャパングループ様 明治安田生命保険相互会社様 (3) 日本福祉大学美浜キャンパスの生活協同組合様に32台目の支援自販機設置決定 9月29日感謝状贈呈 (4) 9月18日(土)の友輪会は緊急事態宣言延長のため中止
4. SP委員会(松田委員長) (1) スポーツプログラムの再開準備について (2) スペシャルオリンピックス日本 オンラインマラソン2021の開催について (3) 障がい者サッカー関係行事について
5. ファミリー委員会(松本委員長) (1) 2021年度後半の名簿をファミリー委員へ展開 (2) 9月度NPO法人花と緑と健康のまちづくりフォーラムのファミリーへの展開 (3) オンラインマラソン参加についてファミリーへ展開 (4) 緊急事態宣言終了後ファミリー委員会の開催を検討
6. 事務局(鈴木事務局長) (1) 運営委員会にて10/31開催予定のジョギングフェスティバルは中止 (2) 8月累計の収支報告 (3) 2022年度予算方針についての理事会決定報告 (4) 明治安田生命保険相互会社より寄付金 (5) コカ・コーラ社より頂いたTOKYO2020 オリンピック記念のタオル約50枚を希望するアスリートに配付のため、募集案内作成と郵送 (6) アスリート宛のクリスマスカードの件 愛知淑徳大学との協力を頂く (7) システム化に伴う主任コーチの端末使用の件 (8) 「アスリート対象」オンラインヘルスセミナーのご案内の件 (9) 次回運営委員会10月13日(水) 18:00～

以上

※このニュースレターの印刷は、富士フイルムビジネスイノベーションジャパン株式会社 愛知支社様にご協力
 いただいております。



できる人が、
 できる時に、
 できることを
 実施する

富士ゼロックス愛知株式会社は2021年4月1日に富士フイルムビジネスイノベーションジャパン株式会社へ社名変更しました。
 これからも事業活動を通じて社会課題の解決に継続して貢献していきます。

富士フイルムビジネスイノベーションジャパン株式会社 愛知支社
<https://www.fujifilm.com/fb/company/fbj>